

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	北部法人会第5支部		代表者名	比嘉良勝
担当者部署	第5支部		連絡先電話番号	090-8663-7701
担当者役職	理事	担当者氏名	饒平名 知成	連絡先E-mail
住所	905-0292 沖縄県本部町渡久地882-3			

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	本部町	連絡先部署	企画商工観光課 課長	
担当者氏名	宮城 健	連絡先電話番号	0980-47-2702	連絡先E-mail

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	鈴木 邦治
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	就労者の高齢化と就労人数の低下が著しい建築業がDXを導入することによる業務効率化・生産性の向上のやり方を教えていただいた
アドバイザーへの要望事項	特になし

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月18日	講演(実地)	有	令和6年1月16日	1165
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年2月6日	講演（実地）	10時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	360
3-2. 派遣場所	会場名	もとぶ文化交流センター		最寄駅	バス停本部博物館前
	所在地	沖縄県本部町大浜874番地1		最寄駅からの交通手段	無し

#### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	北部法人会・副町長及び役場職員	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	就労者の高齢化ならびに、就労者の減少という問題を抱えた建設業がこれまでの事業体制そのものを見直しDX推進ができれば、業務効率化・生産性が向上する可能性が有ります。しかしDXの進め方が分からない、DX人材がいない、経営陣がDXが理解できていない等々の課題があり、解決する方法のヒントを模索したいが沖縄県北部ではDXへの取り組みがほとんどなく、またセミナー等のイベント開催がないため、北部企業のDXへの意識の底上げが求められている。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	県外大手ゼネコンまたは中小企業と同じレベルでのDXへの取り組み・意識づけ及び県内の建設業をリードする取り組み。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	午前中は研修内容や実施について最終調整を行い。13時から副町長及び総務課長に自治体DXについての総務省支援説明。その後、研修に向けてのセッティングや会場設営。 15時30分から講師が準備した資料（①DXの背景・現状 ②課題 ③もう一つの課題 ④導入するメリット ⑤新技術）に沿って研修を行った。 随時参加者からの質問への応答時間が設けられDXへの理解を深められる有意義な研修となった。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	建設業におけるDXとは何か、どのように導入されているか、建設業のが進む未来が理解できた。また、講師の拝領で参加できなかった会員や参加したが聞き流した所など動画サイトから観られるよう承諾をいただいたので、より一層理解を深める機会が可能となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は建設業DX研修だったので予備知識があり、初回より理解を深めたが、DX推進を具現化するための企業側のインフラ整備や人員確保・育成などの課題は持ち越しと成っている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 準備段階	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	個々の事業所がDXに対する知識が構築でき地域ビジネスが活性化できる組織力	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

